



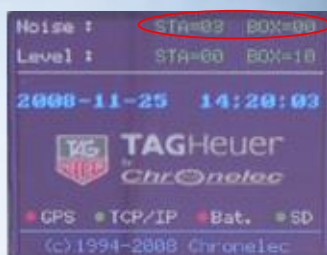
## ノイズ値の表示

ノイズ値は、どれくらい外部よりシステムが干渉されているかを示す値です。

毎5秒ごと、トランスポンダーが計測線を通過する毎にデコーダーはノイズの値を表示します。

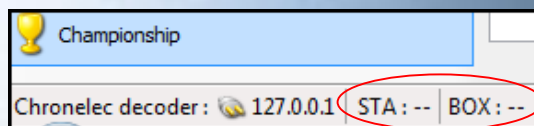
- ノイズ値が0のループの設置状態では、トランスポンダーがもっとも高い性能の状態で見られます。
- ノイズ値が1から30のループの設置状態では、トランスポンダーは通常の性能で見られます。
- ノイズ値が31から40のループの設置状態では、トランスポンダーの検知がされない可能性があります。
- ノイズ値が40以上のループの設置状態では、トランスポンダーの検知される可能性が極めて低いです。

プロタイムエリートデコーダー(2ループ用)ではノイズ値がディスプレイに表示されます。



← ノイズ値の表示

エリートv2ソフトウェア(2ループ用)ではスクリーンの左下にノイズ値が表示されます。



← ノイズ値の表示

エリートv2ソフトウェア(2ループ用)では計測中各通過毎にノイズ値が表示されます。

ID	No.	Loop	Name	Total time	Lap time	Total laps	Lap avg speed	Tr...	Strength	Reception	Battery	Noise	Time
134	130	STA	GENSAC Pierre	00:09:44.131	6:44.172	1	17.8	1138	62	25	100	24	10:14:36

↑ ノイズ値の表示

もしノイズ値が40よりも高い場合は、システムのケーブルを全て調べる必要があります。

(探知ループ、パッシブループの場合の抵抗、同軸ケーブル、BNCコネクションなど)

そして、もし他の電気器具(プリンター、短波ラジオステーション、ケーブルの近くの電気、発電機など)はノイズ値を上げる原因となりえます。